

【横浜市平沼記念体育館】 第三期指定管理者業務評価表

<評価基準>

A(著しく優れている):業務基準・目標水準を遥かに上回っている。
 B(適正):業務基準・目標水準を達成できている(※標準点)
 C(改善の必要有):業務基準・目標水準に満たない。又は一部未達成。

<コメント・理由欄>

A: 数値・具体的な事項等を記入のこと。当初予定していなかった事業を実施し効果をあげたり、目標を遥かに上回った理由を記入。
 B: 目標通り達成できている場合は特にコメント不要。目標と違う方法でも同様の効果が得られた場合はその様に記載。
 C: 目標に達しなかった理由や今後の改善策を記載のこと。

基本方針	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	総括コメント	行政評価	総括コメント	外部評価	総括コメント
<p>1 市民の多様化するニーズに的確に応え、より多くのスポーツ団体、市民が気楽にスポーツに親しむことができるとともに、様々なスポーツ活動の拠点として利用されることをもって、市民のスポーツ・レクリエーションの普及・振興を図られることを目指す。</p> <p>2 スポーツ関係団体や関係者等との連携を強め、スポーツに日頃から親しんでいる人だけでなく、接する機会を持つことが難しい人、関心の薄い人も含め、子供から高齢者まで、より多くの市民がスポーツ振興に興味と関心を持つことができる多様な機会と場を提供する。</p>	<p>『するスポーツ』の振興の他、『観るスポーツ』『学ぶスポーツ』『支えるスポーツ』も意識し、事業を展開します。また、『市民の健康づくり』『スポーツの振興』を推進する新たな自主事業を展開し、施設価値の向上と収益源の創出を進めていきます。【P.13】</p> <p>施設の設置目的と理念、特徴、取り巻く環境、行政施策などを踏まえ、「市民・お客様」「財務」「成長・発展」「地域・社会」の4つの視点から管理運営の基本方針を策定【P.13】</p>	/	B	<p>・管理運営の基本方針とそれに踏まえた10チャレンジ(目標)に基づく運営を実施。</p> <p>・利用時間の拡大や地下会議室をスポーツスタジオ2としてお客様に利用いただく。</p> <p>・総合型地域スポーツクラブとの活動連携ではY.S.C.CのF2リーグ参戦に伴い、ホームコート(観戦イベント)として早朝開館・延長営業に協力し、観る・支えるスポーツとして協力。</p> <p>・30近い事前受付(定期)教室にて幼児から高齢者の幅広い年齢層を対象とした教室を実施し、スポーツの機会提供を実施。</p>	B	<p>休眠スペースであった地下会議室のスタジオ化や、ランニングステーションとしての個人利用の設定等、新たな利用者層の発掘や利用機会の拡大ができています。</p> <p>また、Y.S.C.CのF2リーグ参戦に伴う、ホームコートとしての協力等、新たな施設価値の創出へ積極的に取り組んでいる。</p> <p>残りの指定期間では、提案時に設定した10の目標を着実に達成していくとともに、引き続き適切な施設の維持管理に努めてほしい。</p>	B	<p>厳しい収支状況が続く中、諸室の用途変更や新たな施設の利用形態の模索など、利用者の増加及び利用機会の増加に向けた施策の実施に努めている。</p>

(1)事業目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	コメント	行政評価	コメント	外部評価	コメント
利用者の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・託児サービスの実施【P.46】 ・個人利用の設定【P.46】 ・地下会議室のスポーツスタジオ化【P.46】 ・物品保管サービス【P.47】 ・大会時の早期開場・延長開閉【P.47】 ・体育器具等のセッティング支援【P.50】 	<ul style="list-style-type: none"> ・託児サービスの実施(28年度) ・個人利用の設定(30年度～) ・地下会議室のスポーツスタジオ化(29年度～) ・物品保管サービス(31年度実施予定) ・大会時の早期開場・延長開閉(28年度～) ・体育器具等のセッティング支援(28年度～) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の方々へスポーツをする機会を提供するため託児サービスを実施(28年度)。29・30年度は、委託先都合により未実施であるが、31年度からの再開を目指す。 ・平沼記念体育館をステーションとし、三ツ沢公園をウォーキング・ランニングする方におロッカー、シャワー設備を利用いただける個人利用を実施(H30～)。 ・地下会議室をスタジオ2として改装し、一般団体に貸出し、また教室事業も展開。 ・大会時に主催者と事前打合せを行い、必要場合は早朝開場、延長営業を実施し、利用者の利便性の向上に努めている。 	B	<p>大会時の早期開場・延長営業、体育器具等のセッティング支援を行い、利用者の利便性の向上につながっている。また、託児サービスの実施や新たにウォーキング・ランニングステーションとしての個人利用を設定する等、気軽にスポーツができる環境を提供している。</p> <p>委託先都合により29・30年度の実施ができなかった託児サービスについては、再開できるように取り組んでほしい。</p>	B	<p>大会時の早朝・深夜帯の営業やウォーキング・ランニングステーションとしての個人利用の設定等、利用者のニーズに合わせた施設運営が行われている。託児サービスは子育て世代にもスポーツに親しんでもらうために、再開できるよう取り組んでほしい。</p>
スポーツ教室等の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室の定期的実施【P.15,P.54～55】 ・健康維持を図るための小規模教室実施【P.15,P.54～55】 ・託児サービス付きスポーツ教室事業【P.15,P.46】 ・老若男女すべてを対象とした多種多様なスポーツ教室プログラム【P.54～55】 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室の定期的実施(28年度～) ・健康維持を図るための小規模教室実施。 ・29年度からは地下会議室(スタジオ2)でも教室を開催(29年度～) ・託児サービス付きスポーツ教室事業(28年度) ・多世代多目的の教室プログラム(28年度～) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室は事前受付(定期)教室を通常開催。 ・会議室(スポーツスタジオ)を利用し教室を実施。 ・28年度はバドミントン教室にて託児サービスを実施。現在は団体未実施。 ・未就園児の親子から、幼児、小学生、高齢者対象の約30教室を実施。 	B	<p>幼児から高齢者まで幅広い世代を対象とした多種多様な教室が提供されている。</p> <p>また、近隣の近隣小学校、幼稚園等へのチラシ配布等教室参加者を増やすための取組も積極的に行われている。</p>	B	
自主事業の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・大会時の早朝開場・延長開閉【P.47】 ・基本開館時間外での利用時間帯の拡大【P.47】 ・地下会議室のスポーツスタジオ化【P.46】 ・基本開館時間外の教室事業展開【P.55】 ・イベント事業の展開【P.56】 ・物販・レンタル事業、自動販売機の設置【P.48～49】 	<ul style="list-style-type: none"> ・大会時の早朝開場・延長開閉の実施(28年度～) ・基本開館時間外での利用時間帯の拡大(28年度～) ・地下会議室のスポーツスタジオ化(28年度設置、29年度～運用) ・基本開館時間外の教室事業展開(28年度～) ・スポーツ・レクリエーションフェスティバル、三ツ沢公園イベント、平体祭等のイベント事業の展開(28年度～) ・物販・レンタル事業、自動販売機の設置(28年度～) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日から土曜日には基本開館時間外の21時から23時まで営業時間の拡大。年末12月29日17時まで営業を実施。 ・地下会議室を新たにスポーツスタジオとして団体へ貸出(29年7月～)。 ・基本時間外フットサルタイム等の教室開催。 ・スポーツ・レクリエーションフェスティバル、平体祭、三ツ沢公園近隣施設団体との事業開催。 ・スポーツ用品の物販・レンタルを実施。 	B	<p>営業時間の拡大や新たに地下会議室をスポーツスタジオ化することで、市民の利用機会を増やす努力を行っている。</p> <p>また、イベントを開催により、普段利用しない方が施設に訪れる等、新たな利用者獲得のために繋がっている。</p>	B	

(2)運営目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	コメント	行政評価	コメント	外部評価	コメント
公共性・公平性に基づいた利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・人権問題に関する研修の実施【P.26】 ・指定管理者研修の実施【P.27】 ・適正な利用許可、予約システムの実行体制【P.27～28】 ・ユニバーサルデザインを踏まえたサービスの提供【P.29】 ・障がい児・者や高齢者にやさしい環境づくり【P.29】 ・外国人等も利用しやすい施設づくり【P.29】 ・情報のバリアフリー化【P.31】 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権問題に関する研修の受講及び実施(28年度～) ・指定管理者研修の受講実施 ・適正な利用許可、予約システムの実行体制(28年度～) ・ユニバーサルデザインを踏まえたサービスの提供(28年度～) ・子供、障がい児・者や高齢者にやさしい環境づくり(28年度～) ・外国人等も利用しやすい施設づくりとして掲示物の工夫(28年度～) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・館長や職員が人権研修に参加し、館長が担当となり、全スタッフに年1回以上人権についての研修を実施。 ・館内一部掲示物に漢字の振り仮名表記や英語を併記、英語の利用案内等を掲示、配布。 	B	<p>全スタッフへの人権研修を実施する等、人権擁護のための取組みがみられる。</p> <p>また、年齢や障害、国籍等に関わらず、だれもが利用しやすい環境をつくるための様々な工夫がみられる。</p>	B	
関連法令の遵守体制	<ul style="list-style-type: none"> ・内部統制システムの一部としてのコンプライアンス体制【P.32】 ・コンプライアンス推進計画の策定【P.33】 ・強固な情報ネットワークセキュリティシステム【P.33】 ・遵守する関係法令及び規定・マニュアルの整備【P.34】 ・個人情報の保護に関する法律の規定以上の措置を定めるJISQ15001に適合した個人情報保護体制の構築・運用【P.35】 ・適正な経理処理と業務監査体制の充実【P.37～38】 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス研修の受講及び実施(28年度～) ・個人情報の保護に関する定期点検及び内部監査の履行(28年度～) ・適正な経理処理と業務監査体制(28年度～) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・館長や職員がコンプライアンス研修に参加し、館長が担当となり、全スタッフに年1回以上コンプライアンスについての研修を実施。 ・市体育協会がプライバシーマークを認定取得し、平沼記念体育館においても「JISQ15001(個人情報保護マネジメントシステム—要求事項)」に適合した個人情報保護体制を構築・運用。 ・公益法人会計基準及び横浜市会計経理関係規定等に準じて、経理事務を実施。 ・当協会内部監査(文書管理、労務管理、経理処理、情報ネットワーク等)要綱に基づく監査を定期的に行い、業務の点検及び改善についての提言を受け、業務の適正化・効率化を図る。 	B	<p>コンプライアンス研修の実施や業務監査の実施により、個人情報保護・法令遵守のための体制が構築されている。</p>	B	<p>年齢や障害、国籍等に関わらず、だれもが利用しやすい施設とするための、様々な取組みが認められる。今後は、英語だけでなく、多言語による案内も検討してほしい。</p>
利用者本位のサービス提供・利用者の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様アンケートと利用促進会議の開催【P.39】 ・託児サービス、物品保管サービス【P.46～47】 ・ホスピタリティ溢れる応対【P.41】 ・電子決済の導入【P.48】 ・ワンストップサービス及び他施設利用料金支払いの受付【P.49】 ・ユニバーサルデザインとバリアフリーの実践【P.41】 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様アンケートの実施(28年度～) ・託児サービスの実施(28年度、31年度中に再開予定。) ・物品保管サービス(31年度実施予定) ・事前受付(定期)教室のクレジット決済導入(30年度) ・ワンストップサービス及び他施設利用料金支払いの受付(28年度～) ・ユニバーサルデザインフロントやピクトグラムを活用した掲示物の作成(28年度～) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様アンケートを実施し、内容を検討の上、施設運営に適切に反映。 ・託児サービスが28年度実施。委託先の都合により29・30年度は未実施。 ・事前受付(定期)教室ではクレジットカード決済を導入し好評。 ・館内の掲示物ではピクトグラムやユニバーサルデザインフロントを活用する等、わかりやすくユニバーサルデザインを意識し実施。 	B	<p>利用者アンケートの結果を参考に修繕を実施する等、利用者要望を運営に反映する仕組みが構築されている。</p> <p>また、教室におけるクレジットカード決済の導入や予約システム導入他施設の利用料金支払いの受付を実施する等、利用者の利便性向上に取り組んでいる。</p>	B	<p>体育室と記念棟が一体の施設であることが重要と考えるので、体育室だけでなく、記念棟のギャラリーも積極的に活用し、文化的な活動も増えるように。</p>
広報・利用促進活動	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な広報活動の展開【P.50】 ・各種媒体を利用した広報活動【P.51】 ・近隣幼稚園・小学校へのちらし配布。自治会掲示板への掲示依頼【P.52】 ・情報のバリアフリー化【P.31】 ・効果的な案内板の設置【P.52】 ・報道機関への情報提供【P.52】 ・記念棟への見学推進と目録の再整備【P.58】 ・主催者との協力を通じた大会情報の事前PR強化【P.60】 	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県以外西・保土ヶ谷区の広報版への計画的な掲載(28年度～) ・近隣幼稚園・小学校へのちらし配布。自治会掲示板への掲示依頼(28年度～) ・効果的な案内板の設置として既存の屋外看板を利用したPR実施(28年度～) ・記念棟への見学推進と目録の再整備として、3Fギャラリー絵画展示(29年度～) ・記念棟の資料目録の再整備(28年度～) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な広報活動の展開では立地柄、神奈川・西・保土ヶ谷区の広報版を利用、また近隣小学校、幼稚園等へのちらし配布、自治会掲示板へのちらし掲出等、多岐に渡る事業の周知を実施。 ・横浜スポーツ情報サイト「ハマスポ」や、ホームページ、facebook等を利用したPRを実施。 ・記念棟のギャラリー利用の推進。 ・主催者と協力した大会情報、館内ポスターの掲示。ホームページへの情報提供の実施。 	B	<p>チラシの作成や広報よこはまへの掲載、ウェブサイトの活用等、様々な媒体を組み合わせた積極的な広報活動が展開されている。facebook等、SNSでのPRも実施されているが、更新頻度が低いため、今後は積極的な情報発信が期待される。</p> <p>記念棟については、ギャラリーにおいて絵画や書道の展示を実施する等、利用促進のための取組みが見受けられる。</p>	B	
業務履行体制	<ul style="list-style-type: none"> ・安全かつ効率的な業務履行体制【P.65～68】 ・施設設備の保守点検・管理は、高度の能力を有する施設設備維持管理協力会社や製造会社に委託、安定した業務体制を整える【P.65】 ・横浜市体育協会事務局本部のサポート体制【P.68～69】 ・適正な経理処理【P.69】 ・接遇向上のための研修の実施【P.44】 ・総合的・体系的な職員研修計画【P.45】 	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿島建物総合管理株式会社に一元化した施設設備の保守点検・管理の実施(28年度～) ・横浜市体育協会事務局本部のサポート体制(28年度～) ・適正な経理処理(28年度～) ・接遇向上のための研修の受講及び実施(28年度～) ・総合的・体系的な職員研修計画と受講(28年度～) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿島建物総合管理株式会社に建物・電気・設備等の保守点検・管理を依頼し、安全安心な管理運営を実施。 ・接遇研修を館長が受講後、全スタッフ向けに研修を実施。 	B	<p>施設運営や設備管理が適切に行えるような業務履行体制が整えられている。</p> <p>また、よりよいサービスを提供するための職員研修が実施されている。</p>	B	

**【横浜市平沼記念体育館】
第三期指定管理者業務評価表**

(3)維持管理目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	コメント	行政評価	コメント	外部評価	コメント
メンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> 職員による日常の施設内巡回点検【P.81】 施設設備維持管理協力会社との連携による適切な維持管理体制の構築【P.83】 自主的な建物劣化診断の実施【P.86】 整備されたマニュアル【P.86】 緊急修繕【P.86】 保全コールセンター機能【P.87】 中長期的な修繕計画の策定【P.88】 	<ul style="list-style-type: none"> 職員による1日6回以上の日常の施設内巡回点検の実施(28年度～) 鹿島建物総合管理株式会社と連携した施設設備の保守点検・管理の実施(28年度～) 自主的な建物劣化診断の実施(28年度)と結果を受けての修繕実施(28年度～) 中長期的な修繕計画の策定と実施(28～32年度) 	A	<ul style="list-style-type: none"> 職員による日常の施設内巡回点検を徹底し、異状の早期発見、事故の未然防止に努めている。 施設設備維持管理協力会社との連携による適切な維持管理体制を構築 自主的な建物劣化診断の実施、修繕計画を策定。年間300万円以上の修繕を実施。 	B	<p>日常的な点検の実施や協力会社からの報告により、設備機器の異常を早期発見し、修繕等の適切な対応を行うことができている。</p> <p>また、独自の劣化診断に基づく計画を策定し、効率的な計画修繕を実施している。</p>		
清掃・外構植栽管理計画、環境保持・環境配慮	<ul style="list-style-type: none"> 職員による丁寧な日常清掃【P.81】 美観を保つ外溝・植栽管理【P.88～89】 省エネ推進計画の実行【P.91】 二酸化炭素削減目標の設定【P.91】 環境にやさしい製品の活用【P.92】 グリーン購入の推進【P.92】 グリーンカーテンの設置【P.92】 ごみの減量化【P.92】 	<ul style="list-style-type: none"> 職員による丁寧な日常清掃(28年度～) 美観を保つ外溝・植栽管理(28年度～) 体育室照明LED化による省エネの推進(28年度～) グリーンカーテンの設置(30年度) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 1～2時間ごとに体育室や更衣室、会議室、記念棟などをルート巡回・点検し、日常点検チェックシートに記録を実施。 日常的な外構清掃、草刈・中低木剪定の定期的な実施。必要に応じて高木剪定を実施。 ロビー等屋外にグリーンカーテンを設置。 ペットボトルキャップ回収し、寄贈。 	B	<p>日常のこまめな点検や清掃により良好な衛生環境が維持されている。</p> <p>体育室照明LED化による省エネの推進やグリーンカーテンの設置等、環境保全への取り組みが見られる。</p>	B	<p>老朽化が進む施設について、日常の巡回点検や施設設備維持管理協力会社との連携により効果的・効率的な維持管理を行うことができている。</p>
安全管理(平常時及び緊急時の体制)	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県警察署や神奈川県消防署と緊密に連携した危機管理体制の確立【P.93】 情報収集報告体制【P.95～96】 危機管理マニュアルの整備【P.96】 防犯カメラの設置確認と活用【P.98】 施設説明・機器等の使用説明【P.99】 利用前の準備運動の徹底喚起【P.99】 盗難・盗撮防止、お客様トラブル防止策【P.100】 熱中症・感染症等の対策【P.101】 機械警備、巡回警備による防犯対策【P.101】 補償体制の確立【P.101～102】 事業継続計画(B C P)の策定【P.102】 	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県警察署や神奈川県消防署と連携した危機管理体制を確立 危機管理基本マニュアルの整備・研修を実施(28年度～) 防犯カメラの設置と機械警備、巡回警備による防犯対策(28年度～) 利用ルール、マナー等の注意喚起(28年度～) 盗難・盗撮防止、お客様トラブル防止策(28年度～) 熱中症・感染症等の対策(28年度～) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理基本マニュアルに基づき緊急時等対応。全スタッフ研修で確認。 敷地内事故案件で警察署への防犯カメラ画像提供。 ロビーエアコン、体育室換気扇を利用した熱中症対策の実施。 施設説明等で掲示物を有効利用し、子供障がい者にもわかりやすい表記を実施。 24時間機械警備及び巡回警備を実施。 	B	<p>警察や消防との連携、マニュアルの整備等、緊急時の対応を円滑に行うための危機管理体制が構築されている。</p> <p>また、施設利用における事故やトラブル等防止に取組んでいる。</p>		
(4)収支目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	備考	行政評価	備考	外部評価	コメント
効率的な管理運営	<ul style="list-style-type: none"> スケールメリットを生かしたコスト削減【P.74～76】 ライフサイクルコスト削減への貢献【P.74】 電力入札の実施、省エネ・省コスト化への取組【P.74～75】 委託・調達コストの削減【P.75】 多彩な自主事業収入の設定【P.72～73】 地下会議室のスポーツスタジアム化による収入増【P.72】 子供向け教室の新設による収入増【P.71】 体育室内広告看板掲出による収入【P.71】 質の高い事業評価会【P.71】 	<ul style="list-style-type: none"> 委託業務でのスケールメリットを生かしたコスト削減(28年度～) 電力入札の実施(30年度～)、体育室照明LED化による省エネ・省コスト化の実施(28年度～) 地下会議室のスポーツスタジアム化による収入増(29年度～) 子供向け教室の新設による収入増(28年度～) 体育室内広告看板掲出による収入増加(31年度実施予定) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 体育室照明LED化。光熱水費削減(H26=7,584千円⇒H29=3,079千円、約60%削減)。 電力入札を実施。 地下会議室をスポーツスタジアムとし、団体利用、教室事業等で収入を増加。稼働率H29=22%、H30=30%。 小学生対象教室の増加、幼児向け教室等の教室を新設実施。 	B	<p>光熱水費をはじめとしたコスト削減のための努力が見受けられる。また、地下会議室のスポーツスタジアム化やウォーキング・ランニングステーションとしての個人利用の設定等、新たな収入確保のための取組がなされており、引き続き収入確保のための努力を続けてほしい。</p>	B	<p>照明のLED化や電力入札等、コスト削減の努力が図られている。</p> <p>収支差額が毎年赤字となっているため、教室の再編等による収支状況の改善に期待したい。</p>
適正な委託・調達・雇用	<ul style="list-style-type: none"> 契約規程に基づき、指名競争入札等により契約【P.76】 高い専門性を有する業務については、公共スポーツ施設の設備管理において大変定評のある業者を施設設備維持管理協力会社として委託【P.76】 委託業務の適正な監督管理、労働関係法令等の遵守【P.77】 横浜市中小企業振興条例の趣旨を踏まえた委託、調達の実施【P.77】 	<ul style="list-style-type: none"> 契約規程に基づき、指名競争入札等により契約 高い専門性を有する業務については、公共スポーツ施設の設備管理において定評のある鹿島建物総合管理会社へ委託(28年度～) 委託業務の適正な監督管理、労働関係法令等の遵守(28年度～) 横浜市中小企業振興条例の趣旨を踏まえた委託、調達の実施(28年度～) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市内に拠点を持つ中小企業事業者からの調達を第一に考え、競争入札や見積もり合わせを実施し、委託や消耗品等の調達を実施。 電気・消防設備・自動ドア等点検については鹿島建物総合管理株式会社を通じて専門の業者による点検、修繕を実施。 	B	<p>横浜市中小企業振興条例の趣旨を踏まえた上で、適切な委託・調達の実施に取り組んでいる。</p> <p>また、地元住民の方々を積極的に雇用する等、横浜市の地域活性化へ貢献している。</p>		
(5)その他目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準(年度計画)	自己評価	コメント	行政評価	コメント	外部評価	コメント
地域支援・地域連携・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> 地域との会合の実施【P.104】 地域還元イベントの開催【P.104】 地元住民の方々の雇用【P.106】 地域の犯罪防止、防災への協力【P.106～107】 地域の障害者団体の活動支援【P.107】 近隣施設との協働【P.108～109】 総合型地域スポーツクラブとの活動連携【P.109】 神奈川区や西区で活動する「ココハマさわやかスポーツ」の活動支援【P.110】 地元小・中学校の社会科見学受け入れ【P.111】 	<ul style="list-style-type: none"> 三ツ沢公園活性化会議への参加(28年度～) スポーツ地域還元イベントの開催 地元住民の方々の雇用(28年度～) 地域の犯罪防止、防災への協力として地域貢献型電柱広告掲出(30年度～) 近隣施設との協働事業開催(31年度～実施予定) 総合型地域スポーツクラブとの活動連携としてY.S.C.C.への協力(30年度～) 	A	<ul style="list-style-type: none"> 地域との連合町内会会長会への参加、三ツ沢公園活性化会議へ参加。 地域の犯罪防止、防災への協力では、地域貢献型電柱広告を実施。 総合型地域スポーツクラブとの活動連携ではY.S.C.C.のF2リーグ参戦に伴うホームコートとして年間を通して協力。 スポーツレクリエーションフェスティバル、平体祭、三ツ沢公園連携イベント等の地域還元イベントを開催し、好評を得ている。 	A	<p>連合町内会会長会等の参加や地域還元イベントの開催等、地域と密着した施設運営を行うための努力が見受けられる。</p> <p>また、提案にはなかった地域貢献型電柱広告の実施やY.S.C.C.のF2リーグ参戦に伴うホームコートとしての協力等、積極的な地域貢献の取組がなされている。</p>	A	<p>町内会のイベントへの協力や総合型地域スポーツクラブとの活動連携等、積極的な地域貢献の取組が図られている。</p>
自己評価・第三者評価	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容を継続的に改善するために、PDCAマネジメントサイクルを構築【P.113】 ご意見・苦情・要望の積極的な受付と反映 セルフモニタリングの実施【P.115】 指定管理者独自依頼による第三者評価の実施【P.114～115】 	<ul style="list-style-type: none"> お客様の声(ご意見・苦情・要望)投書箱の設置及び反映(28年度～) お客様アンケートの実施(28年度～) 指定管理者独自依頼による第三者評価の実施(31年度実施予定) 	B	<ul style="list-style-type: none"> お客様アンケート等のご意見を積極的に活用し修繕等に反映。 ご意見、苦情・要望等を運営に反映。 	B	<p>アンケートや投書箱の設置等により利用者の意見・要望を把握し、施設運営へ反映することができている。</p> <p>今後実施予定の指定管理者独自の第三者評価も必ず実施し、その結果を施設運営の改善に役立ててほしい。</p>		